

刊夕日二十二月一



定価 一部五銭 五部五銭 郵費五銭  
廣告料 五銭 十二行五銭 五部五銭  
日曜 祭日の日 休刊  
発行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日新聞社

### 牢獄と蜘蛛と こうろぎ 四

白土 五郎

蜘蛛 公

今度は思ひきつて低く左端に西の方に横に網を張つた、翌朝は二匹の蝶と一匹の蛾がかかつてゐた。俺は思はず「蜘蛛公偉いぞ」と叫んだ、蜘蛛はかく網を張り變へるまで一ヶ月以上の苦心をした。この一ヶ月苦心、なみ大低ではない、破れても、瘦せて細くなるまで一日に二度も三度も網を張り變へた。彼は徐々に経験と思慮により、網の張り方を研究しつゝあつたのだ、そして三匹の獲物が一度にあつてからは更に低く左端に網は張られた。おれの寝る時は必ずガラス戸を二つに重ねて中間に寄せて兩端を開けて置く、だから左端の閉いてゐるだけ一ぱいに低く鐵棒近くに網を張つておけば火を慕ふて飛んでくる虫も、室から出て行く虫もその網にかゝらざるを得ないのである。左端の蜘蛛はそこに目をつけたのが偉い、また低く、鐵棒近くに網を張ることによつて、難役の災難からものがれ、風にも破られることない。

近頃は豊富なものだ。獲物は食へあまるほどかゝり、あみは破れても修繕もせず、あみの真中に頭を下に足をちぢめて眠つてゐる。さもなければ鐵窓の隅に行つてゐる。蚊公などかゝつても食ふとしない。昨日一寸姿を見せたとき鐵窓の隅から出て來ない、あみは半分以上も破れてゐるがやりつばなした。腹が一つ

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味噌汁：小松菜 小皿 栗ふくませ

【晝】深川井御飯(むきみ 葱味噌かけ) 小付 紅生姜 花らつきよ

【晩】天ぷら：いか 海老 割した大根おろし お浸し ほうれん草

ばいであるからあれ以上食ふ必要はないだらう。肥えて腹は張りきつてゐる。

右端の蜘蛛は左端の蜘蛛よりよほど馬鹿である。傳統的習性的生活の惰性からなかなか脱れることが出来ず、獲物はなく、瘦せてよろ／＼して食乏にもがいてゐる。左端の蜘蛛より早くからこゝに巢を掛けてゐるのだが腹はこけて足ばかり長く、何時もあみの真中に頭を下にして、足の先さきまで力を入れて油断な

く一匹の蚊すらのがすまいと眼を光らしてゐる。が獲物はない。時々蚊かかゝるくらゐのものである、そのあみの張り方は二ヶ月も見てゐるが同じ處だ、だから難役には時々たき落され風で破られる、その場所が鐵棒から一尺もはなれ、目隠板より高いのだもの獲物のないのも無理はない、馬鹿なくも公だ。おれはこれ等二匹のくも公を毎日／＼見てゐる、そしていろいろのことを考へた教へられた。右端のくも公も、右端のくも公のやうに頭を使ふてあみを張れば安定した生活出来るのに頭を使はずに手足ばかり使つてゐる。彼に云はせると

貧乏ひまなし  
かせぐに追ひつゝ早食乏と、ぐちをこぼすであらうそして私は働いたために生れて來たのだ。働いて働いて死んで行くのだと。働くことはよいことだ。だが、かく手足のみ使つて、あくせくせすとも頭を使へばよゆうある生活が出来るのだ頭を使ふこと所謂創造的生活をやることである。左端のくも公のよゆうのある生活を見て、彼はなまけ者であること云ふことは出来ぬ。彼の長所を我々は學ばねばならない。

### 舊二日市景品に就て

- 一、現金にて御買上の方に景品を差上げます
- 一、現金にて商品券御買上の方にも同様景品を差上げます
- 一、但し商品券にて品物御買上の場合景品は差上りません
- 二、日市の景品は右の通り御實行下さる様希望いたします

### 平商工会

平町各商店 御中  
平町御客様 御中

### お正月のお楽しみ

娛樂の王座 MSカメラ  
良く寫る MSカメラ

舊正月二日御買上の御客に限様り  
左の大景品進呈

- 一、一圓のカメラ御買上の方には 小型種板一打(二十五錢の品)進呈
  - 一、二圓、三圓のカメラ御買上の方には ベスト判種板一打五十錢の品進呈
  - 一、五圓のカメラ御買上の方には 木製上三脚(一圓の品)進呈
  - 一、十圓のカメラ御買上の方には ポツクス皮カメラ用靴(圓蓋子鏡の品)進呈
  - 一、十二圓のカメラ御買上の方には 特製金屬三段三脚(三圓の品)進呈
- 但し舊正月二日一日限りです  
後は損をしますからやめます

平町前 いづみや玩具店

### 和漆器家具は 和久井屋

電話四〇五番

父丸山慶治七京中の處突然罹病藥石効なく去る一月二十日逝去致候間此段御通知申上候  
追て葬送の儀は舊正月を遠慮し來る二月九日午後一時自宅出棺常町九品寺に於て佛式により執行可致す候  
昭和十一年二月二十二日  
福島縣平町搔樋小路一番地

丸山喜一郎  
丸山昇平  
丸山健一  
佐々木徳次郎  
丸山徳次郎  
丸山徳次郎  
丸山徳次郎

### 萬年筆なら!!! ハーマニカなら!!!

何んといつても定評ある 佐々木商店へ  
……品種類豊富……責任販賣……

大景品付二重サーブス

萬年筆美麗金文字御名入

ハーマニカ大懸賞付

舊二日 三日

平公園前 佐々木商店  
電話二三五番

食事・喫茶・酒場。を兼ねた

佛蘭西 御料理 サロシ

平町 電話三五二番

# 正月押迫り

## 農家用品入荷

昨年よりも五分方増加

舊正月も愈々押し迫つて接近したので平町には去る十日頃から農家向きの正月用品がドシ／＼流れ込んで来る去る十一日より廿日まで平町へ到着した貨物類は密柑の百九十七噸(二十四車)が最高で次は木炭の六十四噸(九車)お菓子が卅六噸(五車)鮮魚が十二噸(三車)反物類が最も少なく十噸(一車)となつて居り如何にも農家らしい素朴な需要を物語つて居るが是れでも本年の荷動きは昨年より約五分の増加を見せて居ると

### 英國皇帝 平町各崩御哀悼

は廿二日朝禮の際英國皇帝ジョージ五世陛下崩御に關し學校長より遠く哀悼の意を表した

### 耐寒行軍

平第三小學校で

平第三小學校兒童の耐寒行軍は来る廿九日午前十時校庭を出發一二年生は飯野村白土八幡、三四年は夏井村専稱寺、五六年は同村如來寺まで強行軍する筈である

# 平商新築を

## 東京支部が懇請

既報一平商業學校の校舎新築は各方面から促進運動が繼續されてゐたが今回在京同校卒業生よりなる平商業學校商友會東京支部では過般の支部會に於て之が促進運動を起すことになり支部長高田平四郎君、幹事長鈴木壽雄君、外幹事、商議員十六名連署を以つて青沼平町長宛校舎新築促進陳情書を提出し來つた

## 庶民金庫 總代會

来る廿八日

平庶民金庫は来る廿八日午後一時から組合事務所にて總代會を開き左記案を協議する  
一、事業報告剩餘金處分の件

郷倉納穀式 草野 大字北神谷恩賜郷倉に部落

一、餘裕金額預入個所決定の件  
一、十一年度借入金最高限度決定の件  
一、一組員に對する貸付金最高限度決定の件  
一、信用評定委員改選の件  
一、定款變更の件

劍道紅白試合 既報  
平第三小學校は廿二日午後一時から兒童の劍道紅白試合を行ひ優勝者に表彰を授與する

## ガソリン車停留所の負擔金過大

### 夫々地元で陳情

昨日協議會の結果

愈々四月一日頃實施される、模様となつた平地方のガソリンカー停留所設置に就いては關係町村から昨年中陳情書を提出してあつたが昨廿一日平町を初め湯本、内郷、赤井、神谷、好間、大浦、四倉八ヶ町村關係者が平町會議室に集集協議したが最近の鐵道側の發表に依れば停留所設置に就いては約六百圓餘の設置費が地元町村の負擔となら模様であるため、最初各町村の見込

## 櫻花の候に講堂開き

近く地久節から使用される

櫻ヶ丘臺上にネオ、ルネッサンスの粹を誇る磐城高等女學校講堂は既に大半の工事が完了し電氣装置其の他附屬工事も完備に近いが

## 白米出廻る

前日より廿二錢安

既報一平農業倉庫の共同販賣は昨廿一日執行入札米五百六十九俵は高値一俵十一圓三十五錢、安値十一圓十八錢、平均十一圓二十六錢で落札したが出廻多數の爲め前回より二十二錢の安値を見た尚糯米は最近にない品不足の爲め一俵十四圓二錢と云ふ高値であつた

## 中等校長會議

縣主催の濱三郡中等學校校長會議は二月四、五兩日小學校長會議は六日から四日間いづれ平町に開會教育費關係の豫算内容を指示される

## 後藤驛長視察

後藤驛長は本月廿五日から一週間に亘つて仙臺鐵道局管内東北六縣の主要驛を歴巡しガソリンカーの運轉及び事務の視察を行ふ

## 親和會總會

平町役場並に職業紹介所吏員からなる親和會は廿四日午後二時から會議室に定期總會を開く

## 平町除隊兵

新川町國井正一君は八年一月鐵道第一聯隊入隊後滿洲鐵道第三聯隊に編入され滿期延期中、ところ十五日除隊となり廿四日午後一時五十二分

着て歸平することになつた  
平署警官異動 平署今回の縣下警察官異動に依り警部補菊地富三(小名濱派出所)氏は喜多方署野澤警部補派出所に轉任、管内駐在所異動は左の通り(括弧内舊任地)  
古港鈴木繁次(三春)(小名濱鈴木長吾(高久)江名金田寛(磐崎)湯本上町兒島鶴吉(小名濱古港)赤井綠川利雄(澤渡)小名濱定西渡邊孝司(小名請願)澤渡板橋源次郎(江名)神谷猪越芳松、好間會田寛司好間上遠野繁松、磐崎根本磯松、内郷綴要田留吉高久森道行

郡内漁組協議 石城郡漁業組合は廿九日平町團體事務所樓上に縣主催で豫金部資金調定借替に關して協議する

## 平町人事

出生  
△紺屋町二四大森政雄氏二女エイ子さん  
△月見町二三根本清三さん(五ツ)  
△四丁目四一丸山慶治氏(六四)

## 改築記念

舊正月 初賣出し  
二月三日

三鱗煉炭會社特約店  
鹽鮭・木炭 乾物類  
市原商店  
平町一丁目  
煉炭★木炭大廉賣 電話二四四

土屋洋品店  
平町四町通電話六五六番

# 自動車を買込みに

## 角帽四人連の鮮人

### 平署の疑惑が晴れず

#### 植田署に手配取押ふ

昨廿二日午後六時頃平町二丁目子自動車部並に紺屋町佐藤自動車修繕工場に

日本大学の角帽をかひつた四人連の鮮人が訪ねて三四年型フォードニューカー警視廳ナンバー二一八四六の賣込を交渉、價格が折合はず植田方面に立去つたとの急報に接した平署は舊歳末で時節柄自動車

窃盗犯人の疑ひを抱き事件を重大視し早速植田署に手配同日午後七時半頃植田署が逮捕した前記鮮人四名を平署に押送直に取調べを開始すると同時に一方警視廳に照會したが同ナンバー

自動車は現在東京に於て他の所有者が運轉中である旨の返事あつた爲愈々自動車窃盗犯人がナンバーを偽造したものと疑惑は深められ平署は異常に緊張した

# 疑ひは晴れて

## 當人は豪農の倅

別稿—自動車賣込事件に就いて警視廳の返事に接した平署は近來の事件として緊張し

### 逮捕した 東京市牛込

區鶴巻町四二九下宿業成富館止宿日大法科三學年生徒朝鮮全羅南道生野鄭エンシユ(三)外三名を取調べたが結局同自動車は鄭君の所有車として何等疑ふべき点なく前記

警視廳の返事も照會ナンバーを誤報した錯誤と判明鄭君が持つ學生證その

### 一日市に

#### 平商生手傳ふ

平商業學校は例年通り来る舊正月二日の賣込に商店實務試験のため五年生の希望者二十餘名を各商店に派出するが申込商店は例年より多く割當人員目下詮衡中である

### 歳末警戒

#### 獲物はない

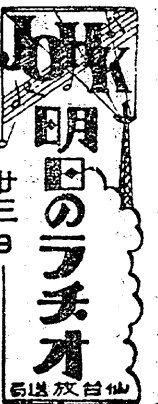
平署は昨廿一日午後九時よ

### 留置場で

#### 狂言自殺を企て

##### 舊悪の露見を恐る 舉動不審者漸く實を吐く

平署が昨年十一月下旬平町南町徘徊中舉動不審で逮捕した東京市蒲田區蒲田町糖屋町堀内金五郎こと鈴木萬太郎(三)は檢舉以來白をきつて何等罪状を自白せず舊臘初旬同署留置場で舌を嚙んで自殺を企てたが未遂に終つたので愈々怪しと睨



明日のラジオ

今夜は晴明日も同様

前二〇、三〇 母の指導「高島平三郎」  
後二〇、五〇 管絃樂 大阪放送交響樂團：桃谷中繼  
後二、三〇 小學尋四の時間 國語「コロンブスの話」酒井三郎  
後二、四〇 小學尋五の時間 地理「中國地方と四國地方」小川恭二(松江) 西龜正天廣(高島) 本重雄(徳島)

後六二五 農家の時間 「副業美談を語る」五十子 卷三他  
後七三〇 第一線の夕へ挨拶 丸山鶴吉  
後七、四〇 歌謡曲 美ち奴(京城より)  
後七、五五 「挨拶」大竹平安北道知事「國境警備の體験談」松岡京畿道警視「國境警備の唄」警察官有志

今晩の部  
後六〇〇 子供の時間 合唱 J.O.A.R.K 唱歌隊  
後六二五 基礎英語講座 二 岡倉由三郎  
後七、三〇 趣味講座「日本近世歌謡の變遷」高野辰之  
後八、〇〇 一人一話「トキキ前」徳川無聲「饒

明日の部  
前七〇一 基礎ドイツ語 講座 二 武内大造  
前七、三〇 朝の修養「鳩翁道話」乙竹岩造  
前九、〇〇 衛生メモ

紙様のものに遺書を認め狂言自殺を圖つたもので昨年十一月十六日東京市蒲田區蒲田町番地不詳無職月村達之助(四)留置場に達之助と詐つて「今堀内と云ふ

後八、二五 琵琶「露營の夢」二見ケ浦「高蜂筑風」後八、五〇 浪花節「二つの形見」東武藏

### 校庭の一角に

#### 常夏の國出現

##### 警中温室に百花咲き亂る

警中園藝部が過般同窓會及び父兄の應援により完成した幅二間、長さ六間の温室は部長芝崎敬諭及び園藝部員の丹精により洋蘭、フリシユア、アスパラガス、サクラ草、三色スミレ、金盃花、シウニウム、ラキリヤ、シクラタン等約八百鉢が栽培され、就中サクラ草三色スミレ、シクラメンは完備した暖房装置の常夏の室に咲き競ひ生徒等を喜ばしてゐる

### 平職業紹介所報告

- △ 人を求める方
- △ 女中 四十才迄 月給五圓
- △ 女中 卅才迄 月給五圓
- △ トラック運轉手 卅才迄 月給四十圓
- △ 柏雜夫 卅才迄 月給十圓
- △ 女工 廿才迄 月給七圓
- △ 通勤日給卅錢

### 看護婦急派

看護婦急派 求めに應じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七

△ 職を求める方  
△ 集金人 四十六歳 高卒 五圓

# 泥棒の泥棒

(無上級上)  
(渡橋 敬)

悟道軒圓玉 (作)  
丸尾至陽 (書)



三〇 二人の武士

長六はおかねと組合つたまゝ川に落ちたが、長六は舟乗のことゝて水の中では自由がきく、ところがこのおかねは上総東金の生れではあるが、九十九里にて育ちしことゝて水泳にも達してゐる、長六は隅田川で覺た水泳、おかねは太平洋で覺えた水泳、かうなると素養が違ふ、長六はおかねのために水を吞ませられてこれにはおどろいた、苦しいから水面から顔を出すと又水へ突き込まれる、長六はおかねの縄を滑り脱け中洲に這ひ上る、續いておかねも這ひ上つてこゝでまた組合つたが、長六はすきを

見て大川に飛び込み新大橋の岸まで泳いで来て、こゝから駈上る、これを見ておかねも岸から飛び上つて、「泥棒まで」とうしろから組み付く、上になり下になり格闘してゐたが次第に疲労して二人とも睨み合つたまゝ、ウームと肩で息をしてゐる、こうなると格闘する氣力はない、すると大を前に橋見た安藤對馬守の屋敷から出て来た一人の武士、それが二人を見て

武「何だ貴様達は、水にぬれてゐるところを見ると心中の爲損じか」  
おかね「イエエそんなものではございません、此奴は大泥棒でございます」



それをこの女は泥棒だと申します」  
武「一應調べてやるから此方へ来い、立てねえか、何に體がつかれて立つことは出来ぬと、不埒な奴だ、貴様は盗人に違ひない、二三日前に買った新刀をこゝでためしてくれ、其首をぶつばなすぞ」  
抜刀腰になつてバチンと鑢音をとつ立てた、長六はハツとおどろく同時にスツクリと立ち上りヒョロ／＼と五六間歩いた

武「何だ賊だと、此方へ来い、やい立て立て、立たねえか」  
長六の手を取つた、長六は太息をついて  
長「私は泥棒ではございませぬ、この女の主人のところにから金を借りましたか、

武「立てたか」  
長六はあたりをキョロ／＼見て  
長「有難うございます、おかげ様で腰が立ちました」  
武「此方へ来い、女、貴様も一緒に来い」  
と二人をつれて對馬守の

屋敷に入り長屋に連れて来たが  
武「中村、こゝを少し借りますよ、妙な化物に出會つて来たから」  
と聲をかけるのをそれへ出て来たは五十四五になるこれも武家、内から来る灯の光り二人を見て  
△「土井さんこの者共はなんでござる」  
土「男は賊ださうだ、さア此方へ入れ、濡れた着物は脱いで終へ」  
二人は素裸になつて庭より入る中村といふその人が蓆を敷いてそれへ二人をすはらせた、時にこの二人をつれて来た土井といふものは縁に出て  
土「貴様達は何者だ、隠すと爲にならぬぞ」  
と云はれておかねと長六が土井をデツと見たが、年頃は三十四五、色の白い顔の道具の揃つた好男子、それには武家としては言葉つかひがあらひ、一體この人は何者だらうと二人は顔を見合した  
土「俺も役人だ、してみれば貴様達を調べる資格はある」  
長「左様でございますか、私は深川の小名木川にある長六といふこの邊の舟へ品物を賣つて歩く商人でございます、今夜濱町川岸の花さんに頼まれてまして花さんとお客様を舟で向島まで送つて歸つて来ましたが、この中洲につないでございませぬ船でいたつたら致しまして、花さんからもらつた金を

を取られまして——」  
土「いたづらとは何だ、博奕か」  
長「へえ、左様でございます」  
土「金を取られてそれからどうした、賭ち資本こしらへるために盗人をしたか」

## 吉田眼科醫院

平紺屋町 電話六八番  
醫學士 吉田久雄

### ◇◇ 平町吳服商組合 ◇◇

一年中の御禮として 安賣と大競争  
良品大廉賣 各店競ふて 大景品の山

## 吉 一 日 市 初 賣

午前一時開店

### 商品券

當日は例年に倍し賑々しく御来店の上御用命を御待ちいたします

- 組合 加盟店
- 伊關 吳服店(平 二丁目)
  - 小野 榮吳服店(平 四丁目)
  - 渡邊 吳服店(平 土橋)
  - 川 又 商 店(平 白銀町)
  - 吉田屋 吳服店(平 鍛冶町)
  - 谷屋 吳服店(平 新川町)
  - 松屋 吳服店(平 播磨小路)
  - 安積屋 吳服店(平 古鍛冶町)
  - 北川 吳服店(平 研町通り)
  - 三井 吳服店(平 三丁目)
  - 諸橋 吳服店(平 新川町)
  - 仙臺屋 吳服店(平 一丁目)

一冊の代金で  
御希望通りな  
五冊の雑誌が  
自由に讀める  
川崎 文庫  
電六三〇番  
込次第規則書進呈

## ほねぞう

### 桑原柔道整骨院

平糞園下電話六七四